

安心して暮らしつつづけられる新潟市へ 全力

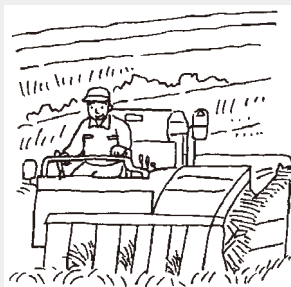
シニア半わり(高齢者のバス運賃半額制度)の改善を市に求める

「シニア半わり」は、65歳以上の方が「りゅーとカード」を「シニア半わりカード」に切り替えるか、新たに「シニア半わり」カードを申し込むと新潟交通のバス運賃が半額になるという制度です。高齢者の長年の要望が実りました。

ところが、その受付が市役所分館で8月29日から9月2日の間に限定されており、それ以降は新潟交通のバスセンターか営業所でのみの受付とされていることから、「身近な場所で受付を」という声があがっていました。

市議団は8月22日、①申込み窓口は、期間延長も含め、区役所など市民の身近な場所で受け付けるよう改善すること②今後、高齢者の公共交通無料化も視野に検討を進めること—の2点を市に申し入れました。

市側は、身近な場所での受付について「そういう市民の声は聞いている」とし、「検討する」と答えました。



倉茂議員は、新潟市がホームページ等で「新潟市の農業力は都道府県とも比肩」と誇り、水田耕地面積やコメ産出額などを島根県や滋賀県等と比較していることを示し、「『農業力は都道府県とも比肩』というのであれば、市の農業予算の比率をそれらの県なみに高め、所得補償や『がんばる農家支援事業』の拡充など抜本的な対策をとるべき」と市に迫りました。

倉茂議員は、政府の28兆円の補正予算案は、リニア新幹線の開業前倒しや大型港湾の建設などの大型開発が中心で、その財源も建設国債などの借金であり、国民の負担を減らしたり、収入を増やしたりする対策はほとんど盛り込まれていないと指摘。国民生活の現状を考えるなら、年金、介護、保育、教育に対する不安を払拭し、雇用の安定と拡大で国民の消費を増やす方向に経済対策を切り替えるべきとし、市長の見解をただしました。

アベノミクスの転換と農業予算の抜本的な増額を

倉茂政樹議員は9月議会で、アベノミクスと補正予算、PPPの批准を許さず撤回を国に求めよ—などについて質問しました。



倉茂政樹

倉茂政樹議員は、市民の切実な声を取りあげて議会質問とともに、地域のみなさんとともに市役所や区役所に働きかけ、要望の実現に力をつくっています。

国保料の負担軽減のための一般会計繰入は継続を

国は国民健康保険の都道府県化（平成30年度）に向けたガイドラインのなかで、加入者の保険料負担を抑えるための一般会計繰入は「段階的に解消・削減」することとしています。

倉茂議員は9月議会で、新潟市の国保財政の現状からみると一般会計繰入を解消・削減したら、今でも高すぎる国保料の大幅引き上げは必至であり、平成30年度以降も市の裁量で一般会計繰入を継続すべきだと主張しました。

市の福祉部長は「平成30年度以降については、（保険料負担の）軽減が必要だという判断になることもありうると思いますので、一律に（一般会計繰入を）削減するとか、そういうことは考えておりません」と答弁しました。

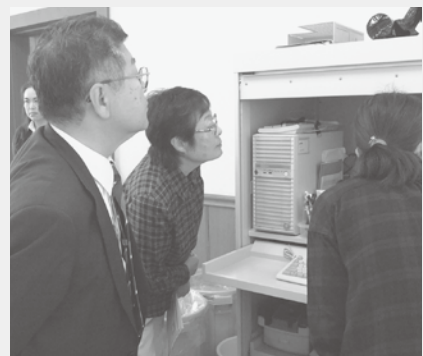


スクールランチ方式の

中学校給食を調査

倉茂政樹議員は10月24日、渡辺有子議員とともに山潟中学校を訪ね、スクールランチ方式の給食（旧新潟市の中学校給食）について調査しました。

プリペイドカードで入金しランチを予約する方式ですが、利用率は約7割にとどまっています。生活保護世帯や就学援助世帯は、ま



市は、飯塚孝子議員の質問に対し、生活保護世帯等にはあらかじめポイントを入れたカードを交付するなどの改善方法を検討中と答弁しています。

